

道志小学校 令和のやまなし教育活動モデル事業 実践報告③-1

「主体的学習の基礎となる志の醸成～仕事の価値観～」

実施年月日	令和6年2月9日（金）	実施時間	2時間
		対象学年	4・5・6年生
実施形態	教育プログラム 活用授業	業者	スタートアップポップコーン
実施のねらい 起業家教育のプログラムを提供するスタートアップポップコーン社の教育プログラムである「仕事の価値観カードゲーム」を活用して、児童が自己の価値観について自問自答したり、優先順位について考えたり、友達と意見交流したりすることを通して主体的学習の基礎となる志を醸成することを目的としている。			
活動の概要 ① 31枚の価値観が書かれたカードから大切にしたい価値のカードを5枚、重視しない価値のカードを5枚選び、理由をワークシートに記入させる。 ② グループで自分の価値観について発表し、質疑応答する。 ③ 意見交流によって感じたことや考えたこと、学んだことをワークシートにまとめる。			
実施によって得られた成果 （成果）自分が尊重する価値を知り、自分の考えの原点を認識できる。 ○ 価値観を比較することで、自分の思考の原点となるものに気づくことができた。 ○ 自分の価値観を他者に説明することが、自分の意見を積極的に伝えることにつながっている。 ○ 自分と他者の選択した価値観を比較することで、自分と似た考えや全く違う考え方があることに気づき、多様な考え方をする存在を認める素地ができてきた。 ※ 価値観カードゲームの31種の価値の中から大切にしたい価値と重要視しない価値をそれぞれ5枚ずつ選ぶことで、自分の心との対話ができて、自分の価値観について説明するところが、自分の考えを積極的に伝えることにつながっている。友達と相互に意見交流することで価値観の多様性や考え方の違いを知り、受容性を高めることにつながっている。			

代表的な児童の感想

- ・自分がどんなことを大事にしているか分かった。
- ・カードの優先順位を決めるのに迷ったけど、理由を考えるきっかけにもなった。
- ・自分と同じような価値観の人もいたけど、ぜんぜん違う人がいたのが意外だった。
- ・人によって大事にしていることが違うことがよく分かった。
- ・自分の価値観のことを話す時に、いつも発言する時より意見を言いやすかった。
- ・価値観のことを説明し合ったことで、お互いに相手への理解が深まったと思う。

活動の様子



